

Gemba Roundtable

現場からはじめる、働きやすさの未来会議

Produced by パナソニック コネクト

ファシリテーターガイド 2024.06. ver

はじめに

このファシリテーターガイドは、現場からはじめる、働きやすさの未来会議 Gemba Roundtable（ゲンバ・ラウンドテーブル）を進めるための手引書です。このガイドの内容に沿って「多様な家族」をテーマとした議論を促すことができます。自社・自組織で実施する際には調整・カスタマイズをしていただくことをおすすめします。

関連資料：

[概要資料（PDF）](#) / [事前ブリーフィング資料（PowerPoint）](#) / [当日資料（PowerPoint）](#) / [ペルソナシート（PowerPoint）](#) / [視点取りまとめ用シート（Excel）](#)

目次

1. 概要
2. ファシリテーションの特徴
3. プログラム構成
4. 事前準備
5. ファシリテーターガイド
6. FAQ
7. 更なる議論のために：有識者セッション
8. 議論後のステップ

1. 概要

Gemba Roundtable について

Gemba Roundtable は、多様なメンバーが、未来の働きやすさを議論する、探索型の会議体です。

- ・未来予測からの逆算で、今からできることを考える。
- ・立場を超えて議論する。様々な現場の社員、DEI 推進に関わる社員、マネジメントを担当している社員、外部有識者が集まる。

この 2 つを組み合わせたアプローチによって、いち早く未来の課題を見つけ、アクションを考えることができます。新たなルールや制度をこの場で決めるのではなく、未来に向けて多様な参加者からの視点を出し切ることを重要視しています。

テーマ：2040 年、私たちは「多様な家族」を前提とした働き方ができているか？

今後 2040 年に向けて「高齢単身家族」「同性パートナー家族」「ビジネスケアラー家族」「多国籍家族」「共同育児家族」の 5 つの家族の形が増えていくと見込まれています。その中で、これまでの固定化した家族像が前提の働き方が続くとどのような課題が出てくるのか？どのようにアップデートしていくべきなのか？を考えます。

参加メンバー：立場の枠を超えた 9-12 名（推奨）

構成：

似たバックグラウンドを持つ社員だけではなく、さまざまな現場の社員、DEI 推進に関わる社員、マネジメントを担当している社員（役員、責任者、チームリーダーなど）を集めます。

人数：

- ・最低 6 名：グループワークがあるため、3 名 x2 グループが最小の規模になります。
- ・推奨 9-12 名：3-4 名 x 3 グループが推奨です。進行資料は 3 グループ前提で作成しています。
- ・最大 15 名：全員で活発に議論ができるよう最大 15 名程度をおすすめします。

各グループのメンバー構成：

1 グループ（3-5 名）につき現場の社員、DEI 推進社員、マネジメント社員がそれぞれ最低 1 名ずつ参加することをお勧めします。

所要時間：合計 3 時間程度

- ・事前ブリーフィング：45 分
- ・当日の議論：2 時間 30 分

2. ファシリテーションの特徴

通常の会議の進行と異なり、何かを決めるための議論ではなく、視点を出し切るための議論を重視したプログラムになっています。

そのため、ファシリテーションにおいては下記のポイントが重要です：

- ・参加者が安心して意見を共有できる環境を整える
- ・参加者が立場を超えて議論できるよう巻き込む
- ・参加者を先導して、多様な家族や企業の取り組み方について勉強する
- ・自社・自組織での実施条件・参加するメンバーの特性に応じて、内容を調整・カスタマイズする

3. プログラム構成

事前ブリーフィング（45 分）


	時間	分数	内容
1	00:00-00:05	5	オープニング
2	00:05-00:20	15	アイスブレイク・自己紹介
3	00:20-00:35	15	Gemba Roundtable とは・テーマ説明
4	00:35-00:40	5	事前宿題・議論当日のお知らせ
5	00:40-00:45	5	Q&A

当日の議論（2 時間 30 分）

	時間	分数	内容
1	00:00-00:15	15	オープニング・アイスブレイク
2	00:15-00:55	40	Step1: 5 つの家族を振り返る
3	00:55-01:00	5	休憩
4	01:00-01:50	50	Step2: 1 つの家族を考える
5	01:50-01:55	5	休憩
6	01:55-02:20	25	Step3: 働きやすさの未来を考える
7	02:20-02:30	10	クロージング

4. 事前準備

- ・ **参加者集め**：概要資料などを活用して周囲を巻き込む・社内公募する
- ・ **参加者選定**：参加希望が多数の場合、ライフステージ、事業所・所属部署、業務内容等のバランスを見て多様なメンバーが揃うように構成する
- ・ **プログラムの調整**：参加者の背景を理解し、必要があればプログラムの内容を調整する（事前の宿題動画、議論のステップ、所要時間、使用言語、資料内の情報など）
- ・ **ファシリテーターガイドの確認**
- ・ **ペルソナシートの印刷**
- ・ **当日の議論に必要な備品類のセット**：4色の付箋（黄＆青＆ピンク＆緑など）・水性ペン（なるべく太い方が遠くからも見えやすいのでお勧めです）・ボード（または模造紙）6枚・ニックネームを記載できるネームシールなど
- ・ **当日の議論であると良い準備物のセット**：BGM とスピーカー・お菓子・飲み物など
- ・ **事後アンケートの作成**：必要であれば
- ・ **当日の議論の各 Step 実施時のレイアウト・準備物**

	補足
	<p>準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボード 5 枚（大きければ 3 枚、広い壁でも可能） ・ 付箋（2 色：黄＆青） ・ ペン <p>配置図（○：参加者）</p> <p>各家族ごとのボード</p>  <p>各グループテーブル</p> 

#04

One Family

Step2.

1つの家族を考える

各家族のペルソナ

家族基本情報

基本家族名 (10分)

家族名

家族構成

家族の役割

家族の価値観

家族の未来

各家族のペルソナを、議論して膨らませよう

20分

各グループで議論した内容を共有し、全員の理解を深めよう

30分

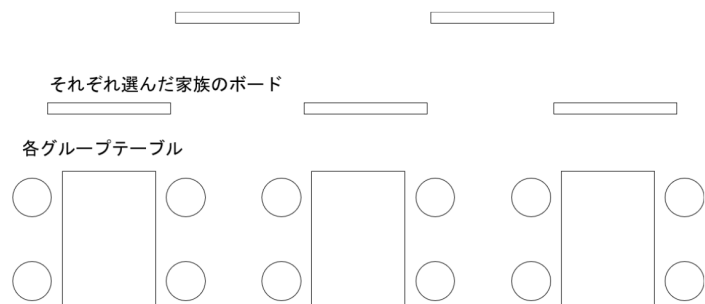
各グループが選んだボードをグループの前に移動してください。

ボードが難しい場合、グループごとにテーブルで模造紙を使ってワークすることも可能です。ボードの前に集まったり、模造紙を囲んだりした方が議論しやすくなります。

準備物

- ・家族ごとのペルソナシート（A3 サイズ以上で印刷したもの）
- ・Step1 と同じ付箋

配置図



#06

Thinking about The Future

Step3.

働きやすさの未来を考える

働きやすさの未来を考える

10分

全員の付箋を貼り出し、グルーピングして議論しよう

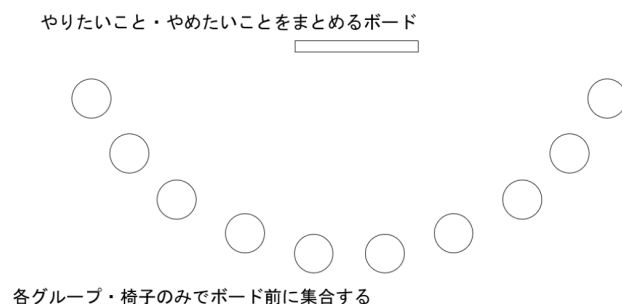
20分

各グループのワークボードではなく、別のボードにまとめましょう。

準備物：

- ・Step1,2 とは異なる 2 色の付箋（ピンク & 緑）

配置図（付箋を貼り終わったら、下記の体形になってください）



5. ファシリテーターガイド

事前ブリーフィング・議論当日の進行資料に沿って、ファシリテーターの方が話す内容をまとめています。実施の際に参考にしてください。

事前ブリーフィング：オンライン実施推奨（参加者の拠点が異なる場合でも迅速に実施することができるように設計しています）

スライド	進行コメント
	今日はお集まりいただきありがとうございます！Gemba Roundtable の事前ブリーフィングです。私は～（自己紹介）です。
	皆さんがこれから取り組む Gemba Roundtable は、未来の働きやすさを議論する探索型の会議体です。 Gemba Roundtable の目的は、未来の働きやすさを議論し考えることで、課題を洗い出し、これから取り組むべきアクションの種を見つけることです。
	パナソニックコネクトでは、議論後に様々なアクションの種が見つかり、早速、取り組みの活動につなげています。
	具体的には、このようなステップを進んでいきます。（内容を説明）
	例えば、もし 1980 年代に Gemba Roundtable があったら？を考えてみましょう。もしこのように議論がされていたら、今の私たちはもっと働きやすかったかもしれません。
	（本メッセージは自社・自組織に合わせて変更してください） 本日、ここに集まったメンバーで、 未来の働きやすさを考えていきます。 未来予測を学び、今の現場に照らしながら立場を超えて議論をする機会


	<p>です。この会議を通して、これからの〇〇社の働きやすさを一緒に考えていきましょう！</p>
 <p>スケジュール (45分)</p> <p>今日は、議論当日に向けて、事前準備を進める会です。</p> <ul style="list-style-type: none"> #01 00:00-00:05 5min オープニング #02 00:05-00:20 15min アイスブレイク・自己紹介 #03 00:20-00:35 15min Gemba Roundtableとは・テーマ説明 #04 00:35-00:40 5min 議論当日のお知らせ #05 00:40-00:45 5min Q&A 	<p>(時間は適宜変更してください)</p> <p>議論当日に向けて、事前準備を進める会です。全体は 45 分を予定しています。</p>
 <p>参加メンバー紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> --部--課 (お名前) さん --部--課 (お名前) さん --部--課 (お名前) さん --部--課 (お名前) さん --部--課 (お名前) さん --部--課 (お名前) さん --部--課 (お名前) さん --部--課 (お名前) さん --部--課 (お名前) さん --部--課 (お名前) さん --部--課 (お名前) さん 	<p>(メンバーのお名前と所属は適宜変更してください)</p> <p>そしてこちらが参加いただいている皆さんです。よろしくお願いします！</p>
 <p>#02 icebreaker アイスブレイク</p>	<p>では、早速アイスブレイクです。</p>
 <p>自己紹介</p> <p>1人1分程度</p> <ol style="list-style-type: none"> 01 名前・当日呼んで欲しいニックネーム 02 業務 03 最近の出来事 (食べたもの・はまっているもの・行った場所・買ったこと・・・) 	<p>1人1分程度で、この3つの共有をお願いします！当日もこのニックネームで呼び合います。では早速私から自己紹介させてください。私のニックネームは～…業務は～…最近～にはまっています。では次、～さんをお願いします！</p>
 <p>#03-1 What is Gemba Roundtable? Gemba Roundtableとは</p>	<p>ありがとうございました。では、これから取り組む Gemba Roundtable について説明していきます。</p>
 <p>Gemba Roundtableとは 現場からはじめる、働きやすさの未来会議</p>	<p>Gemba Roundtable とは、現場からはじめる、働きやすさの「未来」会議です。ですので、今日は未来予測のデータと一緒に見ていきたいと思います。2040 年の未来には、どんなことが起きると予測されているのでしょうか？</p>
 <p>#03-2 What is Gemba Roundtable? 2020年→2040年の人口動態</p> <p>日本の人口 -11%</p> <p>192,600万人 → 181,300万人</p> <p>65歳以上の割合 28.6% → 34.8%</p> <p>3人に1人が65歳以上に</p> <p>生産人口 (15-64歳) -20%</p> <p>7,509万人 → 6,213万人</p> <p>近畿地方の労働力が 20% 減ります</p>	<p>日本の人口動態を見ていきましょう。</p> <p>人口全体としては、11%：1,000 万人以上減ります。さらに、65 歳以上の割合が 35%に迫ります。結果として、働き盛りとされてきた生産人口が、20%減ることになります。これは、近畿地方の労働力がごっそり減るのと同じインパクトがあります。</p>




 <p>2020年～2040年の人口動態</p> <p>労働力不足の深刻化</p>	<p>これらを合わせると、労働力不足がどんどん深刻になっていくのです。</p>
 <p>社員の年齢構成</p> <p>現在の状況から見ていくことは？</p>	<p>(スライド内にある社員の年齢構成グラフ・想定される変化と対応については、自社・自組織に合わせて変更してください)</p> <p>では私たちの組織はどうでしょうか。今の社員全体の年齢構成を見てみましょう。日本全体の年齢構成と比べると～ですね。さらに…（現在の状況から、約 20 年後想定し、起こりうることをリストアップする）</p>
 <p>私たちの2040年</p> <p>劇的な社員構成の変化の中で仕事をしていくことになる</p>	<p>(スライド内にある円の中の文言は、自社・自組織に合わせて変更してください)</p> <p>つまり、私たちは 2040 年には劇的な社員構成の変化の中で仕事をしていくことになります。いち早くできることを、今始める必要があるのです。</p>
 <p>Gemba Roundtable</p> <p>現場から始める、働きやすさの未来会議</p>	<p>そこで、この Gemba Roundtable が生まれました。未来の働きやすさを議論するための、探索型の会議体です。先ほどのような未来予測から逆算すること、そして皆さんのような多様なメンバーが議論すること、この 2 つを組み合わせることで未来に起こりうる課題を考えます。</p>
 <p>テーマ</p>	<p>では、今回の議論のテーマに移りたいと思います。人口動態の変化によって、働き方に影響するものは沢山ありますが、その中でも今回着目するものを定めています。</p>
 <p>2040年、私たちは「多様な家族」を前提とした働き方ができているか？</p>	<p>2040 年、私たちは「多様な家族」を前提とした働き方ができているか？ です。</p>
 <p>未来予測を学ぶ</p> <p>データを学ぶ</p> <p>事例を学ぶ</p>	<p>背景を理解するために、そして議論当日に議論から入れるように、未来予測と一緒に学んでいきましょう。まず、データです。</p>

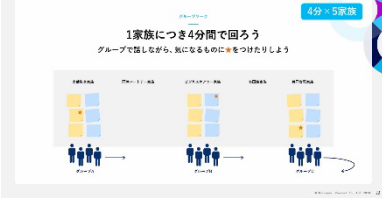

 <p>世帯の将来推計 日本の全世帯を10世帯に凝縮し、2020年と2040年を比較すると…</p>	<p>政府が出している世帯の将来推計データから、日本の全世帯を 10 世帯に凝縮してみたのがこの図です。2020 年はご覧の通り、なんとなく皆さんのイメージに合っているのではないのでしょうか。</p>
 <p>世帯の将来推計 日本の全世帯を10世帯に凝縮し、2020年と2040年を比較すると…</p> <p>2020</p> <p>2040</p> <p>子がいる夫婦 子育て世帯の中心となる世帯に。</p> <p>ひとり親世帯 子育て世帯の中心となる世帯に。</p> <p>単身世帯 子育て世帯の中心となる世帯に。</p> <p>65歳以上の世帯 子育て世帯の中心となる世帯に。</p>	<p>これが、2040 年には、大きな変化を迎えます。「家族」と言った時に思い浮かぶ、アニメや映画で表現される「子がいる夫婦」は全体で 2 割に過ぎず少数派になります。さらに、ひとり親世帯は、子がいる世帯の 1/3 を占めるようになります。多数派になるのは、単身世帯です。しかも、65 歳以上の人口が 35%近くなるので、高齢かつ単身の世帯も増えていきます。</p>
 <p>社会背景の変化 家族の形に大きく影響する社会背景も、2040年に向けて変化が予測される</p> <p>同性パートナーシップ 固定する企業・組織、自治体が増加。</p> <p>要介護者の増加 要介護者は65歳以上の高齢者に、ケアする対象者の割合は、子ども・若者から高齢者（介護）へ。</p> <p>外国人労働者の増加 移民の増加に伴って外国人労働者の割合が増え、外国人労働者の割合が増える。</p>	<p>さらに、人口動態に加えて社会背景の変化も見てみましょう。同性パートナーシップを認める組織が増える。要介護者が増える。外国人労働者や、日本で家族を持つ外国籍の方が増える。</p>
 <p>今後増えていく、5つの家族の形 世帯の将来推計や社会背景の変化から、今後世帯の形にも増えていくと予測される5つ</p> <p>単身世帯</p> <p>親子世帯</p> <p>夫婦世帯</p> <p>多世代世帯</p> <p>外国人世帯</p>	<p>このような変化によって、今後は「家族」の形がどんどん変わって多様になっていきます。今回はこの 5 つの家族の形をみんなで考えていきたいと思います。この家族に属する社員が増えていった時、どんな課題が出てくるのか？どんな職場であるべきなのか？議論していきましょう！</p>
 <p>未来予測を学ぶ</p> <p>動画を学ぶ</p> <p>少しだけ動画を見てみましょう</p> <p>動画視聴のお願い</p> <p>5つの家族の形についてのニュース動画を掲載し、当日に向けて学習をお願いします。</p> <p>単身世帯</p> <p>親子世帯</p> <p>夫婦世帯</p> <p>多世代世帯</p> <p>外国人世帯</p>	<p>当日に向けてもう 1 つ。この 5 つの家族がどんな形なのか、いくつか動画を見て全員学んでくることをお願いします！</p> <p>少しだけ動画を見てみましょう。</p> <p>普通に視聴すると 80 分程度ですが、1.5 倍速だと 1 時間程度で視聴完了します。なお、当日は各家族の課題を書き出すワークがあります。よろしくお願いします。</p> <p>少しだけ動画を見てみましょう。</p> <p>普通に視聴すると 80 分程度ですが、1.5 倍速だと 1 時間程度で視聴完了します。なお、当日は各家族の課題を書き出すワークがあります。よろしくお願いします。</p> <p>※これらの参考動画が公開終了になった場合は、適宜他の関連動画に代替願います。</p>



	<p>では最後に、議論当日の連絡事項です。</p>
	<p>(時間は適宜変更してください)</p> <p>当日までに動画で未来予測を学んでいただいた後、当日は3つのワークに取り組んでいただきます。</p> <p>その後、議論で出た課題を社内で次の取り組みとして活動していきます。</p> <p>当日はこのスケジュールの予定です。</p> <p>1つ目のワークは宿題の動画にある、5つの家族が働くときにどんな課題が出てくるかを想像します。</p> <p>2つ目のワークはその家族の社員が働くときのペルソナを深掘りしながら、解像度を上げて想像をしていくグループワークです。</p> <p>3つ目のワークは、さまざまな家族が同じ会社で働くときに、どのようなことがあれば良いのか、未来を想像します。</p>
	<p>(当日の集合時刻・場所などは適宜変更してください)</p> <p>(当日の集合時刻・場所など読み上げ)</p>
	<p>説明としては以上です。質問のある方は遠慮なくお願いします！</p> <p>(Q&A が終わったら)</p> <p>それでは当日、お会いできることを楽しみにしています！</p>

議論当日：対面実施推奨

スライド	進行コメント
	<p>こんにちは！今日は Gemba Roundtable の議論当日です！事前ブリーフィングで自己紹介しましたが、私は(ファシリテーターのニックネーム)です！今日は2時間半、よろしくお願いします！</p>
	<p>今日議論していくテーマをおさらいします：2040 年、私たちは「多様な家族」を前提とした働き方ができているか？です。</p>
	<p>(時間は適宜変更してください)</p> <p>このようなスケジュールで今日は進んでいきます。</p>
	<p>実際のプログラムに入る前に、議論にあたり重要な前提を共有します！今日は各パートに内容や時間制限がありますが、その中で綺麗にまとめるよりも視点を出し切ることを意識してみてください。脱線も大歓迎です！</p>
	<p>議論の前に、簡単なアイスブレイクをしていきましょう。</p>
	<p>1 人 1 分程度で、先日の事前ブリーフィングで伝えたニックネームと、先週末の思い出をシェアしてください。ちなみに私は先週末は～でした。それでは最初は～さん、お願いします！（指名する）</p>
	<p>(メンバーのお名前は適宜変更してください)</p> <p>今日はグループワークがあります。グループ分けはこちらの通りです。</p>

	<p>では早速、最初のステップに入りましょう。5 つの家族を振り返る、です。</p>
	<p>事前に勉強してきた 5 つの家族を持つ社員が、今の皆さんの現場・職場で働くとき、どんな課題が出てくるか想像していきましょう。</p> <p>5 つの家族をおさらいすると、高齢単身家族、同性パートナー家族、ビジネスケアー家族、多国籍家族、共同育児家族 の 5 つです。</p>
	<p>最初は、個人ワークです。1 つの家族について、本人が感じる課題と、周囲が感じる課題を書き出しましょう。その際、本人が感じる課題は黄色の付箋、周囲が感じる課題を水色の付箋で分けてください。</p> <p>1 家族について 3 分で書き出し、その後ボードに貼りにいきます。</p> <p>この「書き出して、貼りに行く」セットをそれぞれの家族について繰り返すので、全部で 5 回書いて、貼りに行くことになります。</p> <p>グループ A の方は高齢単身家族から、グループ B の方はビジネスケアー家族から、グループ C の方は共同育児家族からスタートしてください。</p> <p>最後には、すべてのグループがすべての家族について貼り出した形になります。</p> <p>それでは、3 分計るのでスタートしましょう！</p> <p>(各自書き出す)</p> <p>そろそろ 2 分半になるので、書いたものをボードに貼りに行ってください。</p> <p>(貼り終わる)</p> <p>それでは、次の家族の形に移ってください。</p> <p>(→ 5 回繰り返す)</p>
	<p>おつかれさまでした！5 家族分集中して書き出しましたね。それでは今度は、グループでボードを見て回しましょう。1 つの家族について、グループで話しながら 4 分間見ていきます。最終的に各グループで 1 つの</p>

	<p>家族を選んでいただきます。グループで気になったものに星印を書き入れたりしてみてください。</p> <p>それでは、最初の家族からスタートしましょう！4分間スタートです。 （グループでボードを見ながら話す）</p> <p>4分経ちましたので、次のボードに移動してください。 （→5回繰り返す）</p> <p>おつかれさまでした！！5つの家族の形全てについて、どんな課題が出てきそうか大枠がつかめたのではないかと思います。</p>
	<p>次のワークでは、グループごとに1つの家族の形について考えます。ですので、グループで相談して、どの家族の形にするか決めてください。お願いします！</p>
	<p>決まったチームから、5分休憩に入ります。どの家族にするかが決まったら、教えてください。（この時、選ぶ家族は他のグループと重複しないようにするとステップ3での議論に幅が出ますので、早い者勝ちかじゃんけん等で分かれるようにMCの方は促してください）</p>
	<p>おかえりなさい！それではステップ2「1つの家族を考える」に入っていきます。</p>
	<p>このステップでは、1つ1つの家族に属する社員について考え、解像度を上げていきます。</p>
	<p>具体的には、5つの家族の形と、それぞれに属する社員のペルソナ、つまり人物像を想像しながら、さらに課題を深掘っていきます。例えば、高齢単身家族のペルソナであれば、…（読み上げる）となっています。</p>
	<p>このペルソナをベースにして、グループで議論して膨らませていきましょう。どんな業務を担当しているのか？どんな一日を過ごしているのか？自分の職場にいたら、どんな課題が出てくるだろうか？といったことを話し合い、ボードに追加していきましょう。</p>

	<p>ペルソナ例の内容は、話し合って変えていって構いません。特に業務内容については仮置きなので、自分たちが想像しやすいように調整してみてください。</p> <p>例えば、高齢単身家族のペルソナ「鈴木おさむ」さんは、工場で働くエンジニアとして書かれていますが、自分たちが想像しやすい、総務や財務、ある分野の専門家など変えてみてください。</p> <p>では、20 分取りますので議論をスタートさせてください！</p>
	<p>おつかれさまでした！では、各グループで議論した内容を全体に共有していきましょう。内容を話すだけでなく、難しかったポイントや議論が白熱したポイントなどもぜひ共有してください。</p> <p>では、～グループからお願いします！</p>
	<p>共有ありがとうございました！では、最後のステップに入る前に 5 分休憩をとります。○時○分に戻ってきてください！</p>
	<p>おかえりなさい！</p> <p>それでは最後のステップ「働きやすさの未来を考える」です。</p>
	<p>これまでのステップでは、5 つの家族の形それぞれについて考えてきましたが、今からの時間は「多様な家族を持つ社員が同じ会社で働き活きと働くには？」というお題を全員で考えたいと思います。</p>
	<p>まず、個人で考えてみましょう。</p> <p>今まで解像度を上げてきた多様な家族に属する社員たち。その方達が、みんな同じ、この会社で働くとしたら…？今の自社や、チームはどう変わればいいのか考えて書き出してみましょう。</p> <p>ピンク色の付箋には、やめたいことを。緑色の付箋には、やりたいことを書き出してください。小さな気づき、大きな制度、なんでも大丈夫です。</p> <p>では 10 分で、お願いします！</p>

	<p>最後の個人ワーク、おつかれさまでした。それでは、全員ボードに付箋を貼ってください。周りの人が貼っているものを見ながら、近いものは近い場所に置いてみてください。</p> <p>(貼り終わったら)</p> <p>それでは、ボードを見ながら全員で議論していきましょう。例えば、多いなと感じるトピックや、すぐにでもできそうなこと、3年後には実現されているべきだと思うことなどを話してみましょう。</p> <p>(意見が挙がらなければ、話を振っていく)</p> <p>例：〇〇関連の意見は、多くありますね。チームをマネジメントされている〇〇さん、どう思いますか？</p> <p>※このパートは、グループの机に着席していた状態からボードの前に全員集まる状態に変えると有効です。</p>
	<p>はい、そろそろ時間となります。言い残したこともあるかもしれませんが、最後にクイックに感想を共有していきましょう。1人30秒程度でお願いします！実は議論の中で言い残していたこともぜひ教えてください。</p>
	<p>こちらで多様な家族をテーマとした議論の会を終わりにします。今日の気づきや視点、アイデアは出して終わりではなく、これを元に社内の仕組みをアップデートしていく想定です。引き続き、よろしくお願いします！</p> <p>今日はおつかれさまでした！</p>

6. FAQ

参加者の方からのよくある質問

*自社・自組織に合わせて回答を調整ください

Q. なぜ Gemba Roundtable を実施するのですか？

A. この会社/チームを、多様な社員がずっと生き活きと働く場所にするために、顕在化している課題だけではなく、未来からの逆算で今からできることを考えたいからです。Gemba Roundtable のワークを通じて、いち早く未来の課題を見つけ、アクションを考えることができます。

Q. 議論当日は何をするのですか？

A. 3 つのワークに取り組みます。まず、動画で学んできた 5 つの家族を振り返ります。次に、グループで 1 つの家族の形を掘り下げて全体に共有します。最後に、全員で、多様な家族がみんな生き活きと働ける職場にするにはどうすればよいか、議論します。

Q. 参加者は、どんな役割で臨めばいいのでしょうか？

A. 一人ひとりの意見が重要です。各ワークにおいて、自分の視点を遠慮なくグループに共有してください。

Q. その場で新たなルールを作るのですか？

A. 新たなルールや制度をこの場で決めるのではなく、未来に向けて多様な参加者からの視点を出し切ることを重要視しています。出した視点によって、新しい働き方やルールを検討していきます。

7. さらなる議論のために：有識者セッション

パナソニック コネクトで実施した際には、未来予測をより深く学び、より多様な視点を洗い出すために上記のプログラムに有識者セッションを加えました。



設定したテーマについて、講演の形で共有していただきます。

社内の論理に捉われず、フレッシュな社外の視点や意見を取り入れることができます。

有識者の例：

- ・活動家の方：NPO/NGO のリーダーなど
- ・アカデミアの方：研究者の方、教鞭を取られている方など
- ・先進企業の方：すでに取り組みを進めている方

参考：

パナソニック コネクトで実施した際に有識者として依頼した方

- ・大妻女子大学 准教授 阪井裕一郎様
- ・株式会社 Rebolt 共同代表・一般社団法人 Famiee COO 内山穂南様

*肩書きは実施当時のもの

講演の後に Q&A・ディスカッションの時間を取り、社員同士で気づいたことをシェアすることで、自分たちが考えていた常識から離れ新しい発見をすることができます。

8. 議論後のステップ

学びと議論に終わらず、洗い出された課題や「やりたいこと」「やめたいこと」に対して、その後のアクションを検討し実際に未来に備えることが重要です。議論当日では、今後の対応まで検討できていない部分もあるかと思いますが、会議の中で出てきた視点の取りまとめシートをご活用ください。（視点取りまとめシート）

ご質問・ご感想の送り先：

パナソニック コネクト株式会社

Gemba Roundtable お問い合わせフォーム

<https://forms.office.com/r/jHaD1Y8KC3>

※お問い合わせフォームは予告なく終了させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

ご感想のみでもお気軽にお送りください。

ご留意事項：

- ・本資料の著作権は、パナソニック コネクト株式会社が保有しています。
- ・本プログラムの目的以外で資料を無断で使用することはお控えください。（複製・改変・アップロード等）